

第2回日進市福祉会館運営協議会 意見

議 題				
委員名	(1) 令和2年度(4月～12月)各福祉会館利用状況について	(2) 令和2年度 予算・改善・見直し	(3) 令和3年度事業計画(案)について	(4) その他
委員 A	異議なし	異議なし	異議なし	異議なし
委員 B	利用者減少について コロナの影響で、利用者が減少したことは、やむをえないことだと思う。ただ、このような期間が長く続くと“福祉会館ばなれ”現象が起きてしまうのではないかと心配になる。	入浴事業(東部、南部)の終了について 資料を見る限り、お風呂サービスの終了は、妥当の判断だと思う。今後、お風呂場のスペースを、別目的の部屋(施設)に改装することは考えていますか？	異議なし	毎日大変ですが、館内感染が起きないように、入場時のチェックを確実にやってください。万が一、クラスターが発生したら、ギブアップです。
委員 C	異議なし	入浴事業について、縮小は賛成です。 この事業をどのくらいの市民が知っているのでしょうか？	異議なし	令和2年度は、コロナ感染症により、事業を運営されるのにご苦労されましたと存じます。暫く同様の状態は続くことでしょう。そして、将来同様な出来事起きる可能性もございます。福祉会館は地域に必要な施設として期待は大きいと思います。安心できる居場所であることをお願い致します。
委員 D	異議なし	公共風呂の廃止につきましては、やむを得ないことと考えます。廃止後の風呂場をどう活用する場に変えて行くかが不明です。災害時のことも含め、有意義な新設備としていただきますようお願い申し上げます。	異議なし	・この状況下、会館の皆様の御苦労、お察し申し上げます。日々、感謝しております。 ・人数制限等、ご配慮下さり、活動を続けていただきます様、今後とも宜しく願い申し上げます。
委員 E	異議なし	異議なし	異議なし	・香久山会館で月2回ほど「ほっとカフェ」を開催しているが、福祉会館は気軽に来られる施設であるため、岩崎台・香久山福祉会館はじめ6館でも30分～40分、高齢者が気軽に集まれる場所を確保してほしい。常設の部屋も確保できないかという要望がありました。 ・難しいと理解しているが、要望として挙げたかった。
委員 F	異議なし	異議なし	異議なし	緊急事態宣言が発出され、福祉会館の運営も大変厳しい中、活動が少しでも開催できるようにとご尽力いただき、ありがとうございます。引き続き職員の皆さまにおかれましても感染対策をしっかりと行っていただき、日々の業務に取り組んでいただけたらと思います。資料につきましては、ご利用者様の安全・安心を最大限にご配慮いただけるように対策を取っていただけたらと考えます。
委員 G	新型コロナ感染対策により、各数値が減少したことはやむを得ないと考えます。	・9月補正でトイレ改修予算要求(計上では?)されたことは積極的で、担当部署としての意欲が感じられました。今後もよろしく願いします。 ・東部及び南部福祉会館の入浴事業の廃止については、記載されているように費用対効果を考えるとやむを得ないことと考えます。そこで、利用できる施設(部屋)が少ない両館なので、そのまま放置ではなく打合せや休憩ができるような場所に改修されることを期待します。	・新規の「地域交流事業」に期待します。 ・東部地域でも若い世帯が増えていきます「ひよっこ広場」の実施基準は何でしょうか。施設の問題もあるのですが、全館での実施を期待します。	・私は、地域活動をしている者としての立場から市民公募で参加させていただきましたが、任期は令和3年6月30日までなので、おそらくこれが最後になると思われれます。 ・これまで、出来るだけ地域の方々の意見を伝えるように心掛けたつもりですが、それがうまく表現できずクレーム的発言になってしまい反省したこともありました。それでも福祉会館職員の方々は私の意見に耳を傾けていただき、会場を東部福祉会館にいただいたり、備品の購入、改修工事、コミサロの再開、デイサービスのコロナ対策調査などできる範囲で対応していただけたらと思っております。 ・今年度はコロナ禍により、議題(1)のように事業が中止・縮小され、「福祉会館の存続意義」が問われているようなところもあると思います。そうした中、逆に時間的余裕が出来、地域福祉計画などの各種計画に関わる部署との連携、今後の位置付け、整備方針等々、どのようにしていくか協議・検討がなされたのではないかと思います。良い機会ですので、その結果について、随時広報で特集する等市民にお知らせ願えると幸いです。
委員 H	コロナで始まりコロナで終わった令和2年の活動報告から利用者の安全を第一として活動の自粛、縮小によりクラスターが発生しなかったことが、何よりも評価されると思う。	2カ所における入浴サービスの終了については、考察にあるように生活様式の変化と老朽化、近隣地域での民間銭湯の増加などにより、利用者の減少したことは十分に納得できる。設立当初の目的(健康増進や憩の場の提供)は他のサービスで代替できるものであると思う。	現況にあって、児童館、子育て支援、老人福祉センターの各事業を従来通り継続することは難しいと思われるが、コロナ感染対策を更に強化して3密を避けた小グループ活動を通して維持していただきたい。何が安心安全なのかを検証しつつ活動を継続し、会館の活動を通してコロナによる拡大化が少しでも軽減されることを期待したい。	コロナ禍における、皆さまの日々のご苦労に感謝申し上げます。

第2回日進市福祉会館運営協議会 意見に対する回答

(1) 令和2年度(4月～12月)各福祉会館利用状況について

3名の委員より意見をいただきました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策により多くの会館事業を中止することとなりました。

委員よりコロナが長期化すると会館ばなれ現象が起きてしまうのではないかと心配の意見をいただきました。

会館においては、事業が再開できた際には多くの高齢者、子ども、親子に楽しんでいただける事業を職員一丸となって取り組んでまいりたいと考えています。

また、利用者の安全を第一として活動の自粛、縮小をしたことによりクラスターが発生しなかったことを評価していただけたことはありがたいことですので、今後も3密対策を行うとともに、利用者への手指消毒、換気、マスク着用等の協力依頼を行い感染予防に努めてまいりたいと考えています。

(2) 令和2年度 予算・改善・見直し

5名の委員より意見をいただきました。

新型コロナウイルス感染症予防対策の関連ですが、トイレ改修事業の取り組みについて担当部署の意欲を感じていただけたことはありがたく思います。

また、東部・南部福祉会館の入浴事業の廃止について施設の老朽化、利用者の状況をご理解いただきご判断いただきありがたく思います。

入浴事業終了後の施設の再利用については現時点では決まっていますが、より多くの方々にご利用いただける施設となるよう改修内容について検討してまいりたいと考えています。

(3) 令和3年度事業計画(案)について

2名の委員より意見をいただきました。

今まで行っていた、もちつき会を世代を超えた交流事業に変更す

ることにより、福祉会館の新規事業としていきたいと考えたものです。現在、令和3年度に向け事業の洗い出しを進めています。

新型コロナウイルスの影響から、児童館、子育て支援、老人福祉センターの各事業は従来通り実施することは難しいかも知れませんが、3密を避け少人数で活動が出来る様対策を講じ実施してまいりたいと考えています。

また、相野山福祉会館で行っている「ひよっこひろば」を他の福祉会館でも行うことはできないかというご意見をいただきました。

「ひよっこひろば」は、他の5館より親子教室のクラスが2クラス少ないことから事業拡大として始めましたが、他館では1週間の中で、親子教室を2回、コミュニティサロン、おたっしやハウスをそれぞれ1回実施し、その他にも土曜日に小学生を対象とした工作、調理等の児童館事業を定期的実施しているため、会場の確保、人員配置等から新たに事業として実施することは、児童館事業に携わっている児童厚生員会議にて意見を聞き検討した結果、現状では困難であると判断しております。

しかしながら、貴重なご意見として将来的な事業計画の中で引き続き検討してまいりたいと考えていますのでご理解賜りますようお願いいたします。

(4) その他

7名の委員より意見をいただきました。

多数の委員より新型コロナウイルス感染予防の取り組みに対して、暖かいお言葉をいただきました。

今年度は、例年以上に利用者数の動向など福祉会館の現状を6館で検討する機会が増えました。今後も、6館それぞれの役割や地域性なども整理しながら、利用者ニーズに対応できるよう引き続き努めてまいりますとともに、福祉会館が安全に利用できる施設として継続できるようより一層維持管理に取り組んでまいります。